



研究用試薬

# ヒストファイン

第一抗体  
抗ミエロペルオキシダーゼウサギモノクローナル抗体(EP151)(AT用)  
(動物種：ウサギ)

包装：50 テスト (6.5mL)      Code：AT1826-1

製造販売元

## 株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402  
東京都中央区築地 6-19-20  
TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

- 本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。
- 特異性および抗原分布：ヒトミエロペルオキシダーゼと特異的に反応する。ミエロペルオキシダーゼは、骨髄で産生される骨髄球系細胞の細胞質に含まれる酵素である。正常では、骨髄球系細胞の単球および好中球等に発現がみられる。巨核球、肥満細胞、形質細胞、赤芽球には発現がみられないため、骨髄球系細胞のマーカーとして有用である。白血病やリンパ腫のタイピングにおいて、急性骨髄性白血病の鑑別に有用である。
- クローン名：EP151
- 抗体のサブクラス：ウサギ IgG
- 免疫原：ヒトミエロペルオキシダーゼの一部に相当する合成ペプチド
- 製法：アフィニティ精製より得ている。

### 1. 内容

第一抗体・・・抗ミエロペルオキシダーゼウサギモノクローナル抗体(EP151)(動物種：ウサギ)。  
液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1 バイアル中に6.5mLを含む。

### 2. 使用目的

組織・細胞中のヒトミエロペルオキシダーゼの染色。

### 3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

- 1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。
- 2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

### 4. 染色方法の設定

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
MPO-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	101	Buffer	MPO-AT	20	25

### 5. 貯法および使用上の注意

1. 2-8℃保存。
2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。
3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。
4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

### 6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

## 7. 参考文献

- (1) Nauseef WM: Hematol Oncol Clin North Am. 2:135-158, 1988
- (2) Conlin P A., et al: Archives of Pathology and Laboratory Medicine. 125 (7): 948-950, 2001
- (3) Dunphy C H., et al: Archives of Pathology and Laboratory Medicine. 125 (8): 1063-1069, 2001
- (4) Hammer A., et al: Laboratory Investigation. 81 (4): 543-554, 2001
- (5) Green PS, et al.: J Neurochem. 90:724-733, 2004
- (6) Amanzada A, et al: Histochem Cell Bio. 135:305-315, 2011

■ 研究用としてのみ使用すること。